

ふりがな 氏名	あかさか すみか 赤坂 澄香	職名	講師
学位	修士（心理学）	現在の研究分野	臨床心理学
所属学会	日本心理臨床学会、日本カウンセリング学会、日本描画テスト・描画療法学会		
主要担当授業科目	「保育内容（人間関係）」、「保育の心理学Ⅰ」、「保育の心理学Ⅱ」、「子ども理解の方法」		
学術関係の受賞状況 及び外部資金採択状況	特記事項なし		
学会及び社会における 主な活動	特記事項なし		
主な研究業績	<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『しつけ事典』一藝社、平成25年（共著） ・『投影描画法ハンドブック —絵によるパーソナリティ理解—』武久出版、平成26年（単著） <p>【学術論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「描画体験の評価に関する尺度の作成の試み」『目白大学心理学研究』第8号、平成24年（共著） ・「卵画と洞窟画における描画後質問(PDI)の作成に関する研究」『目白大学心理学研究』第8号、平成24年（共著） ・「家族画における『表情』に関する研究 —自己イメージおよび親との心理的距離との関連から—」『有明教育芸術短期大学紀要』第3号、平成24年（単著） ・「多文化共生保育に関する研究の概観—保育者養成に関連した多文化共生保育研究に着目して—」『有明教育芸術短期大学紀要』第5巻、平成26年（共著） ・「青年期における動的家族画の描画特徴」『有明教育芸術短期大学紀要』第6巻、平成27年（単著） ・「保育者養成校の学生の『保育者観』の変化に関する研究 —保育内容『人間関係』の授業検討に向けて—」『有明教育芸術短期大学紀要』第9巻、平成30年（単著） <p>【学会発表・公演・講演等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「DAFにおける描画特徴に関する研究 —Porotの家族画分析法およびPDI分析を用いて—」第15回韓国美術治療学会 国際学術発表会、平成20年（共同発表） ・「『マルと家族』（画）の変法による家族の安定度と影響力に関する研究」日本描画テスト・描画療法学会第20回大会、平成22年（共同発表） ・「マルと家族画技法に見る親子イメージについての研究」日本描画テスト・描画療法学会第21回大会、平成23年（共同発表） ・「マルと家族画の変法の臨床的有用性について」第21回韓国美術治療学会 国際学術発表会、平成23年（共同発表） 		